

令和3年12月20日 参・予算委 森本真治議員質疑概要（抜粋）

○森本議員 ちょっと私が気になるのが、人流、人の流れですね。今もうオミクロン株は市中に入ってきている状況で、これから感染拡大をするというのは過去の例から見ればほぼほぼ予想が付くような状況の中で、今の三つの中での対応ということはあるんですけども、これまででしたら、例えば行動自粛というようなこと、時短とかですね、いろんな取組をされていたんですけども、私も今週末地元広島に戻った時、ちょっと会合で市内に出ました。相当な人出。久しぶりにタクシーがないという状況でございました。これから忘年会シーズン、さらには年末年始、相当な人出が予想されます。このところについては何も対応をとらなくてよろしいんでしょうか。

○山際大臣 先生のおっしゃるように、相当、人は社会に出ているということを我々も承知してございます。忘年会、あるいはクリスマスシーズン、年末年始、帰省等々もございますので、先ほど申し上げた三つのこと的前提として、我々国民一人ひとりがいわゆる基本的な感染症対策ですね、手洗いうがい、手指の消毒あるいは三密を避ける等々ということをしつかりやるということがまず大前提になってくると思います。それから総理から金曜日にお示しさせていただいたこと等々をやっても、それでもなお感染の再拡大が見られる場合には、専門家の意見を踏まえつつ、国民の理解を丁寧に求めながら、行動制限の強化を含め機動的に対応していかなくちゃいけないと思います。現時点においては、感染状況を踏まえて、行動制限の取扱い、これを変更することは考えておりません。